

第171国会 衆院財務金融委員会 2009.4.17 与謝野馨財務大臣

権利の差し押さえはいけなけれども、具体的に支給されたものが実際使用できなくなるような状況にすることもまた禁止されているというふうに解釈することが正しいと私は思います。

第171国会 参院決算委員会 2009.6.22 舛添要一厚生労働大臣

ただしかし、こういう行政の目的ということに照らして、関係官署がよく、どういう目的でこのお金が振り込まれているのかということをしかりと念頭に置いて、児童手当の趣旨が生かされるようにやるべきだ

第171国会 参院決算委員会 2009.6.22 与謝野馨財務大臣

やっぱり個別の事情に応じた相当性のある判断をしなければならない。これは相手の今までの納税経歴とか御家族のこととか家業の状況とかいろんなことを知らないといけないことなんですけれども、やっぱり税を取る方はいざこういうものを差し押さえるときにはそういう努力も少しはしていただかないと、社会的な妥当性を欠くような行政になってしまうと。

第174国会 衆院財務金融委員会 2010.3.1 菅直人財務大臣

したがって、例えば、預金残高のない口座に児童手当が振り込まれるのを待って、これをねらい撃ち的に差し押さえるようなことは、差し控えるべきと考えております。

第174国会 参院総務委員会 2010.3.24 原口一博総務大臣

委員の御指摘を受けて、更に納税の在り方あるいは徴税の在り方についても政府内で議論をしていきたいと思っております。

第174国会 衆院財務金融委員会 2010.4.02 渡辺周総務副大臣

また、とにかく、人の生命までも、生存権までも脅かすような、まさに問答無用の徴収、徴税があっては絶対ならないというふうに考えております。

(先ほどの千葉の例ですけれども) こういうことが二度とないように、万全の対策を当然国もすべきであろうし、また、地方に対しても、こういうことがあるという情報を共有して、やはり二度とこういうことがあってはならないということで、何らかの検討を進めていきたいというふうに考えております。

第179国会 衆院財務金融委員会 2011.10.26 安住準国務大臣

例えば、残高のない預金口座への子ども手当の振り込みを待って、これをねらい撃ち的に差し押さえることは差し控えるべきであるというふうに考えております。

先ほど私が申し上げた、また与謝野大臣や菅大臣が申し上げた事例で言えば、これはちょっと、ねらい撃ちに当てはまるのではないかなという気がしております。